

5日制

特集 学校週

9月から毎月第2土曜日

9月12日土曜日学校週5日制がいよいよスタートします。

これは、月1回の第2土曜日を公立の幼稚園、小、中、高等学校、特殊教育諸学校において休みの日とするものです。

月に1回のことかもしれませんが、子供たちがゆとりを取り戻し、子供たちが今しをかできないことを、今やってみたいことを自分で考え、それを行動し体験するいい機会であり、とても意味のある1日です。

また、学校週5日制は、子供たちだけの問題ではありません。家庭、学校はもちろん、地域のいろいろな組織や団体、施設、会社などにも関係してきます。

新しい制度のスタートとなる第1日目が有意義な1日となり、将来につなげていくために、学校、家庭、地域のみんなでこれからの子供の将来を考えましょう。

AQ

学校週5日制の

ねらいは何ですか？

学校週5日制は、二十一世紀に生きる子供たちが、ゆとりある生活のなかで、世界や社会の変化に対応できる基礎的な力を培うとともに、個性を發揮したり、豊かな感性や社会性、創造性を養うことを、その導入の大きな目的としております。

これまで、ともすると学校教育一辺倒になりがちであった教育を改め、学校・家庭・地域社会のそれぞれが持つ教育機能を見直し、互いに密接な連携をとるなかで、

AQ

子どもの学力の低下が心配ですが？

学力については、これまで単なる知識や技能の量の問題としてとらえる傾向がみられましたが、これからは子供が学校での学習や家庭、地域社会での生活全体を通して、自分で考え主体的に判断し行動するために必要な力として身に付けるものと考えることが大切です。このように考えると、子供たちがこれからの変化の激しい社会を生きていく上で、自分で学ぼうとする意欲、思考力、判断力、表現力などを育てていく必要があるのではないのでしょうか。

このような考え方に立って、学校では、指導内容や指導方法の工夫改善に努めることとしています。学校外では、子供の自由な時間を保障し、様々な体験が豊かにできるようにするための場や機会の充実に努めます。

AQ

学校での子どもの学習負担が増加するのでは？

子供の学習負担については、基礎・基本の習得のために必要な時間の確保と、子供の学習リズムや集中力の保持の両面から検討し、それらの調和が図られるようにすることが大切です。学校では、このような考え方に立って、子供や学校の実態などに応じ、学校行事な

などを精選したり、指導方法や日課を工夫したりして、子供の学習負担が増加しないように配慮することとしています。

AQ

土曜日をどのようのが望ましいと思われませんか？

子供たちにもっとゆとりを持たせ、連休となる土・日曜日の生活をはじめ、長期休業日等の生活の在り方について、自ら考え行動させることにより、子供たちがのびのびと生活し、自らの課題を持ちながら、自然体験、社会体験、生活体験を実践することが期待されております。

学校においては、自ら学ぶ意欲と、主体的に考え判断し行動する資質や能力を身につけるよう指導するとともに、子供たちの自主的な活動のための情報の提供を行うなどの配慮に努めます。



大切にしたいネ、子供達の心

AQ

子どもの学習塾通いが増えるのでは？

学校週5日制の導入は、家庭や地域社会において子供が使うことができる時間を確保し、年齢の異なる子供同士の遊び、自然とのふれあい、スポーツや文化活動、生活体験などを豊かにすることを目指しております。

AQ

子どもの非行などが増えるのでは？

なお、教育委員会においても、地域社会の協力を得ながら子供が様々な体験ができるように努めるとともに、学習塾の関係者にも理解を求めています。保護者の皆さんも、学校週5日制の趣旨を御理解いただき、お子さんの望ましい人間形成を図るため、行き過ぎた学習塾通いが増加しないよう御協力をお願いします。

学校週5日制の実施に当たっては、子供の健全育成のために学校、家庭、地域社会、の大人が力を合わせ、子供たち一人一人がもてるものを十分に発揮しながら、たくましく豊かに生きていくことができるようにすることが大切です。教育委員会、学校においては、学校週5日制の導入によって、非行などが増え

AQ

土曜日に保護者が家庭にいない場合は？

休みとなる土曜日に共働きの世帯などでは、子供だけが家庭に残ることも多いと考えられます。こうした子供たちについても、学校・家庭・地域が連携して対応に努めます。学校においては、休業日の有意義な過ごし方を指導するとともに地域のスポーツセンターや図書館等の社会教育施設、児童館等の福祉施設、公園等、様々な活動の場を用意し、利用について配慮するとともに諸活動の推進を図ってまいります。

休みにあっても、家庭や地域社会の協力を得ながら、子供の健全育成の体制づくりにさらに協力していただきたいと考えています。共に子供を育てるといふ考え方に立って、皆様の一層の御協力をお願いします。